

## 令和3年度第2回 富山大学医療安全管理業務監査委員会結果報告書

国立大学法人富山大学医療安全管理業務監査委員会規則に基づき、監査を実施しましたので、以下の通り報告します。

### 監査方法

富山大学附属病院の医療安全管理業務について、管理者及び医療安全業務関係者等から説明聴取、資料閲覧による方法で監査を実施しました。

日時：令和4年2月15日（火）15：00～16：00

会場：富山大学附属病院内及びオンライン（web）会議方式

### 監査項目

1. 前回委員会議事要録の確認
2. インシデントのレベル別年次変化について（報告状況、効果の検証）
3. ICのモニタリング状況について

### 監査結果

1. 前回委員会議事要録について内容の確認を行い、原案どおり承認しました。
2. インシデントのレベル別年次変化について（報告状況、効果の検証）

2017年度から2021年度（12月まで）のインシデントのレベル別年次変化については、インシデント報告総数が年々上昇しており、職員の意識向上が図られていることを確認しました。また、職種別報告についても多角的に分析されており、リスクアセスメントが有効に機能していることを確認しました。なお、職種により報告数のばらつきが見受けられますので、必要な事項については引き続き対策を検討され、医療安全のさらなる深化につなげていただくようお願いします。
3. ICのモニタリング状況について

インフォームド・コンセントのモニタリング状況については、院内で統一された手術に関する説明書・同意書を使用し、必然的に必要事項（10項目＋チーム医療の説明1項目）が満たされる仕組みづくりが構築されていることは、確実性・効率性の観点から非常に評価できます。また、外来のインフォームド・コンセントについては、看護師のマンパワーへの配慮から同席基準を明確化し、病院が取り決めた基準に則って看護師が同席、あるいは説明後に患者の理解度を確認する体制となっており、より患者の理解度を深める取り組みが実施されていることを確認しました。
4. 次回の議題について
  - ・医療相談に関する医療安全の関わり方について

## 総括

富山大学附属病院における医療安全管理業務の状況について、インシデントのレベル別年次変化（報告状況、効果の検証）、IC のモニタリング状況について監査した結果、特定機能病院にふさわしい医療安全管理がなされているものと判断します。

引き続き、医療安全管理対策の徹底と高度な医療安全管理体制の維持に努めていただくようお願いします。

令和 4年 3月16日

富山大学医療安全管理業務監査委員会  
委員長 森岡 浩一